

項目	表示形式	対象年度	具体内容
自治体排出量カルテ① CO <sub>2</sub> 排出量の現状把握			
○地方公共団体の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量（標準的手法）			
1) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比 平成17年度（2005年度）	円グラフ	2005年度	・標準的手法に基づくCO <sub>2</sub> 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
2) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比 平成25年度（2013年度）	円グラフ	2013年度	・標準的手法に基づくCO <sub>2</sub> 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
3) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比 令和4年度（2022年度）	円グラフ	2022年度	・標準的手法に基づくCO <sub>2</sub> 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
4) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2009～2022年度	・2009年度以降の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量の推移
5) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）	100%横上げ横棒グラフ	2022年度	・地方公共団体と該当都道府県平均、全国平均の部門・分野別のCO <sub>2</sub> 排出量構成比の比較

自治体排出量カルテ② 活動量の現状把握			
○地方公共団体の活動量			
1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO <sub>2</sub> 排出量の推移）	折れ線グラフ・縦棒グラフ	2009～2022年度	・標準的手法の部門・分野別の活動量の推移

自治体排出量カルテ③ 特定事業所の温室効果ガス排出量の現状把握			
1 地方公共団体の特定事業所排出量			
1) 特定事業所の部門別排出量（令和3年度）	円グラフ	2021年度	・特定事業所の部門別排出量構成比
2) 特定事業所の部門別排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2011～2021年度	・2011年度以降の特定事業所の部門別排出量の推移
3) 特定事業所のガス種別排出量（令和3年度）	円グラフ	2021年度	・特定事業所のガス種別排出量構成比
4) 特定事業所のガス種別排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2011～2021年度	・2011年度以降の特定事業所のガス種別排出量の推移
5) 業種別の特定事業所の事業所数及び排出量（令和3年度）	横棒グラフ	2021年度	・特定事業所の業種別事業所数及び排出量
2 地方公共団体の区域のCO <sub>2</sub> 排出量との比較			
6) 区域のCO <sub>2</sub> 排出量の推移及び特定事業所排出量のカバー率の推移	横上げ縦棒・折れ線グラフ	2011～2021年度	・区域の産業部門・業務その他部門の排出量の推移と特定事業所排出量が占める割合（カバー率）の推移
3 全国の1事業所当たりの排出傾向との比較			
7) 1事業所当たりの排出傾向（全国平均値との比較）（令和3年度）	横棒グラフ	2021年度	・特定事業所1事業所当たりの排出量の全国平均との比較

自治体排出量カルテ④ 地方公共団体の再生可能エネルギー導入状況及び導入ポテンシャルの現状把握			
1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）			
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量（令和5年度）	円グラフ	2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（導入設備容量）
2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量（令和5年度）	円グラフ	2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（発電電力量）
3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）	横上げ縦棒・折れ線グラフ	2015～2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別導入設備容量の推移と区域の電気使用量に対するFIT・FIP太陽光導入比の推移
4) 区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数の推移（累積）	縦棒グラフ	2015～2023年度	・FIT・FIP公表情報の太陽光（10kW未満）の導入件数の推移
2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル			
5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）	円グラフ	2024年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）	円グラフ	2024年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）
3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）			
7) 区域内のエネルギー消費量に対する再エネ導入ポテンシャル（電気）	縦棒グラフ	2023年度	・区域の電気使用量に対する再エネ導入量、再エネ導入ポテンシャルの比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用
8) 区域内の再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量（電気）	縦棒グラフ	2023年度	・再エネ種別の再エネ導入ポテンシャルに対する再エネ導入量の比較

※人口が同程度の他の地方公共団体との排出量の比較シート、他の地方公共団体との再エネ導入量や再エネポテンシャルの比較シート、特定事業所集計表シートも付録しています。

自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（部門・分野別排出量）			
1 部門・分野別排出量の比較（標準的手法）（令和3年度（2021年度））			
1) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比の比較	100%横上げ横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和3年度（2021年度））			
3) 産業部門	横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の産業部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
4) 業務その他部門	横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の業務その他部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
3 特定事業所排出量の比較（令和3年度（2021年度））			
5) 特定事業所排出量の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
6) 特定事業所数の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所数を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
7) 特定事業所排出量の部門別構成比の比較	100%横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所排出量の部門別構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較

自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（再エネ導入量・再エネポテンシャル）			
1 再エネ導入量の比較（令和5年度（2023年度））			
1) 他の地方公共団体との再エネ別導入設備容量の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・再エネ別導入設備容量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 他の地方公共団体との再エネ別発電電力量の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・再エネ別発電電力量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・対電気使用量FIT・FIP導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比の比較	横棒グラフ	2023年度	・対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※世帯数は2022年度で代用
2 再エネ導入ポテンシャルの比較			
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）の比較	横上げ横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）を同一都道府県内で比較
6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較	横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の電気使用量を同一都道府県内で比較（※2022年度で代用）
7) 同一都道府県内の他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量の比較	横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量を同一都道府県内で比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用

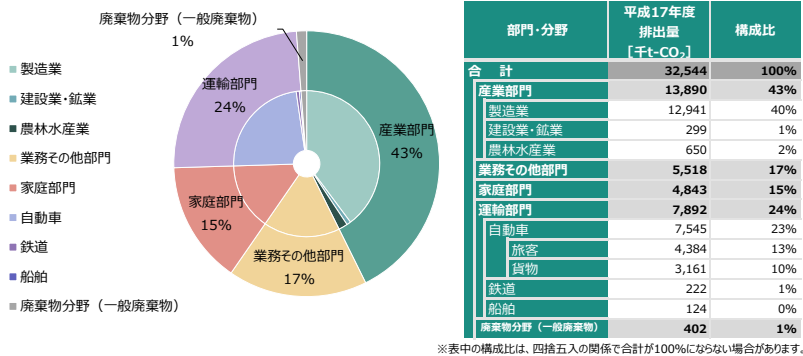
特定事業所集計表シート			
特定事業所集計表			
特定事業所集計表	表	2011～2021年度	・特定事業所の事業所数と排出量の集計表（日本標準産業分類別）

# 自治体排出量カルテ① CO<sub>2</sub>排出量の現状把握

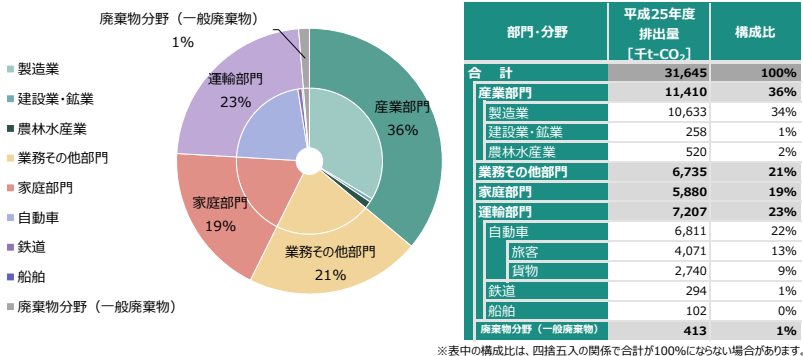
静岡県

## ○地方公共団体の部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量（標準的手法）

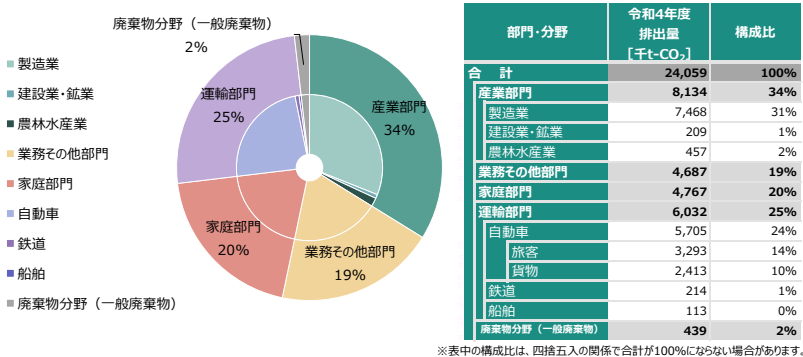
### 1）部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比 平成17年度（2005年度）



### 2）部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比 平成25年度（2013年度）



### 3）部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比 令和4年度（2022年度）

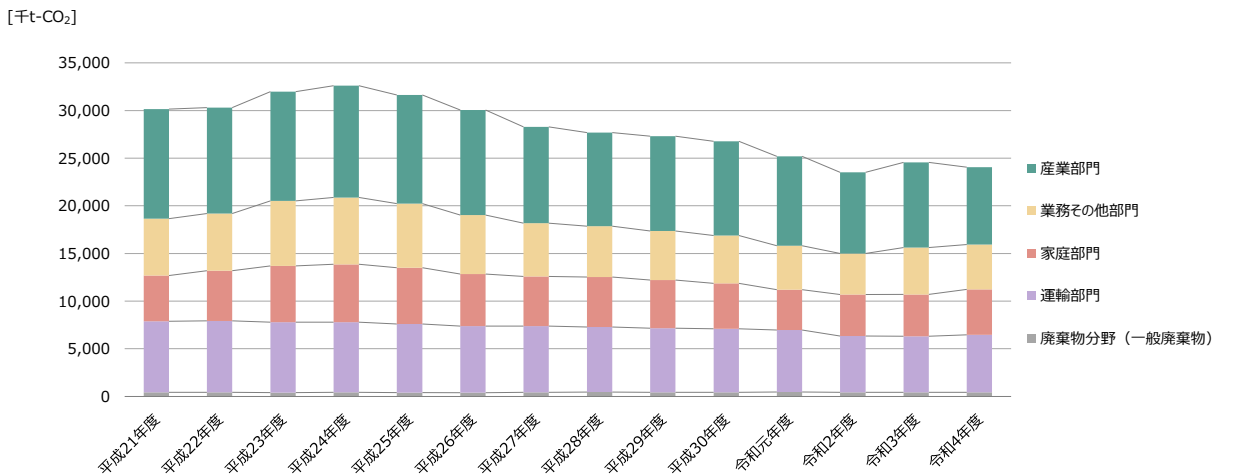


区域のCO<sub>2</sub>排出量は、環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」の標準的手法に基づき、統計資料の按分により地方公共団体別部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量を推計した値です。なお、一般廃棄物のCO<sub>2</sub>排出量は、一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しています。

各地方公共団体の過年度のデータは、地方公共団体実行計画策定・実施支援サイト「部門別CO<sub>2</sub>排出量の現状推計（部門別データ）」（[https://www.env.go.jp/policy/local\\_keikaku/tools/suikai2.html](https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/tools/suikai2.html)）を御参照ください。

本カルテに掲載している推計年度は、地方公共団体実行計画（区域施策編）で地域の温室効果ガス排出量の目標を策定する際、基準年度や現状年度として選択できます。令和4年度（2022年度）は最新の現状推計年度です。各部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比を分析することで施策の検討に役立てることができます。

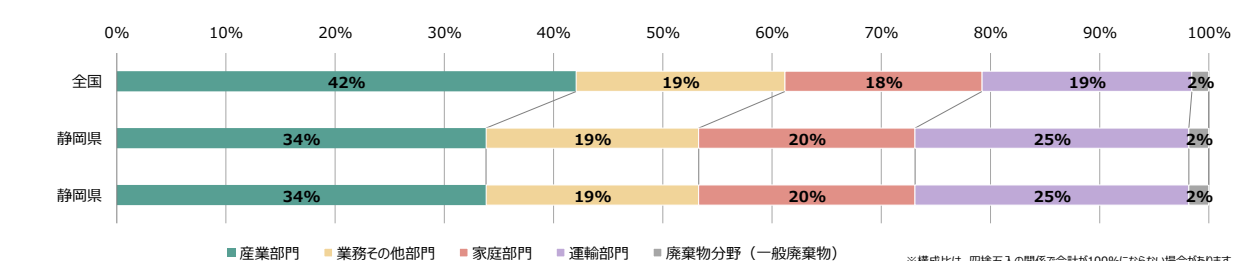
### 4）部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量の推移



部門・分野	部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量													
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合 計	30,153	30,306	31,976	32,602	31,645	30,068	28,283	27,691	27,297	26,771	25,176	23,517	24,548	24,059
産業部門	11,497	11,104	11,466	11,722	11,410	11,020	10,091	9,815	9,934	9,891	9,351	8,514	8,926	8,134
製造業	10,719	10,347	10,614	10,897	10,633	10,307	9,362	9,067	9,234	9,256	8,733	7,756	8,204	7,468
建設業・鉱業	215	230	324	299	258	253	234	230	230	216	196	210	228	209
農林水産業	564	527	529	527	520	460	494	519	469	418	422	548	494	457
業務その他部門	5,979	6,005	6,818	7,009	6,735	6,198	5,597	5,350	5,135	5,011	4,614	4,292	4,912	4,687
家庭部門	4,777	5,262	5,913	6,075	5,880	5,461	5,224	5,240	5,066	4,781	4,223	4,356	4,390	4,767
運輸部門	7,471	7,496	7,364	7,369	7,207	6,995	6,932	6,825	6,739	6,636	6,529	5,914	5,885	6,032
自動車	7,148	7,161	7,001	6,976	6,811	6,610	6,561	6,458	6,381	6,295	6,181	5,590	5,562	5,705
旅客	4,247	4,247	4,203	4,208	4,071	3,894	3,878	3,857	3,817	3,760	3,666	3,221	3,126	3,293
貨物	2,901	2,914	2,797	2,768	2,740	2,716	2,683	2,601	2,564	2,535	2,515	2,369	2,436	2,413
鉄道	220	229	263	290	294	281	274	265	256	236	229	217	214	214
船舶	103	106	100	103	102	105	98	102	103	104	120	107	109	113
廃棄物分野（一般廃棄物）	429	439	415	427	413	393	439	461	423	452	457	442	435	439

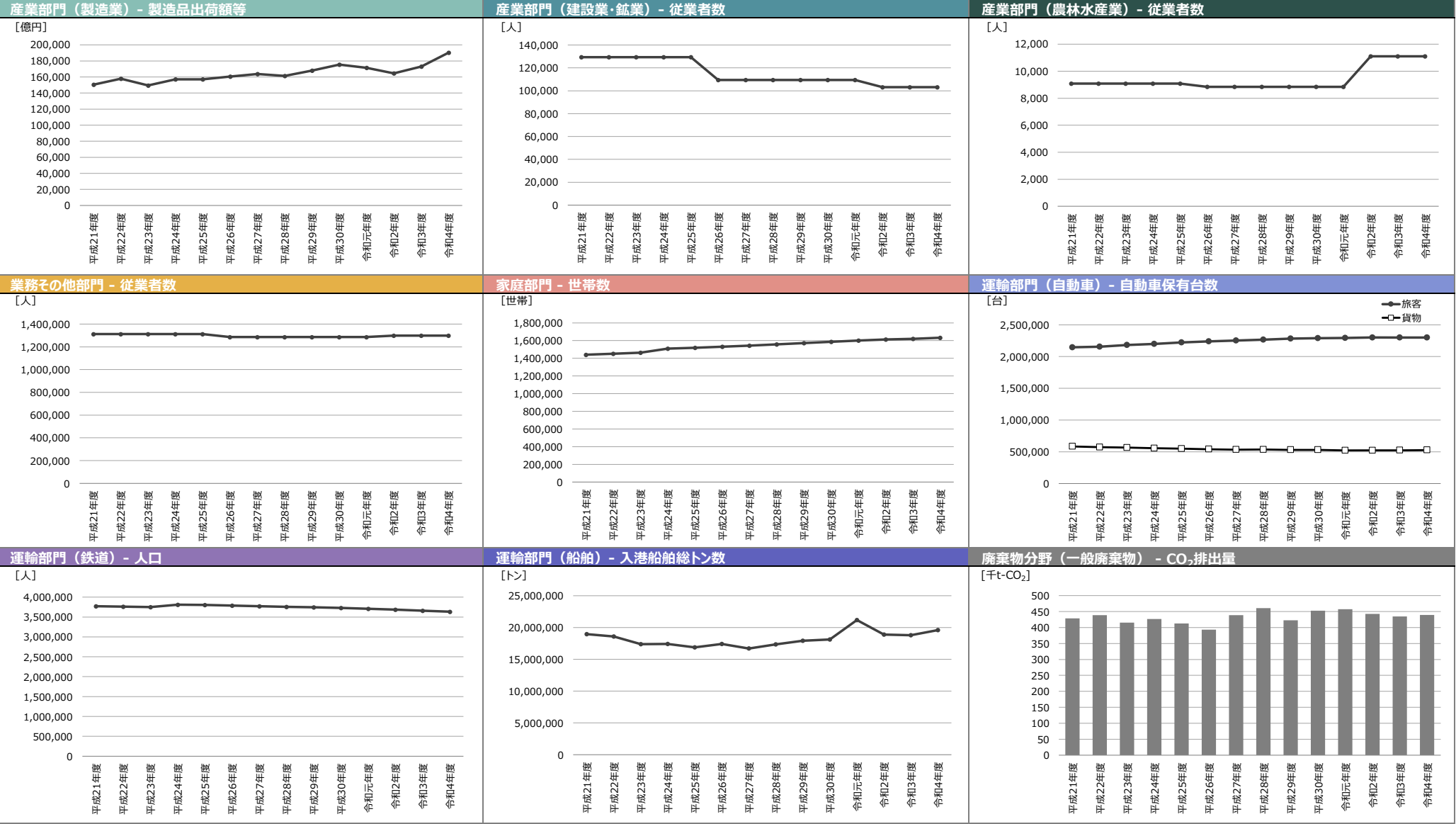
※表中の内訳と小計・合計は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

### 5）部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）



○地方公共団体の活動量

1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO<sub>2</sub>排出量の推移）



部門・分野別活動量の推移で示す各指標は、部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量の推計に用いた按分指標です。それぞれの指標の経年変化を分析することで、CO<sub>2</sub>排出量の要因となる活動量がどのように増減しているかを把握することができます。

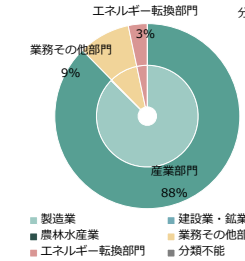
各指標の引用元は次のとおりです。製造品出荷額等（製造業）：令和元年度までは工業統計調査・令和2年度は経済センサス（活動調査）・令和3年度以降は経済構造実態調査、 従業者数（建設業・鉱業、農林水産業、業務その他部門）：令和元年度までは経済センサス（基礎調査）・令和2年度以降は経済センサス（活動調査）、 世帯数（家庭部門）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、 自動車保有台数（運輸部門）：一般財団法人自動車検査登録情報協会「市区町村別自動車保有車両数」及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会「市区町村別軽自動車車両数」、 人口（鉄道）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、 入港船舶総トン数（船舶）：港湾統計年報

なお、従業者数は経済センサス（基礎調査）を使用し、「平成20年度」、「平成21年度～平成25年度」、「平成26年度～令和元年度」をそれぞれ同じ統計から集計（廃棄物分野は按分ではない場合もあります）していましたが、令和3年経済センサスからは活動調査で把握されることとなり、令和2年度以降の従業者数は経済センサス（活動調査）から集計しています。廃棄物分野は按分ではなく一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しているため、推計したCO<sub>2</sub>排出量の推移を掲載しています。

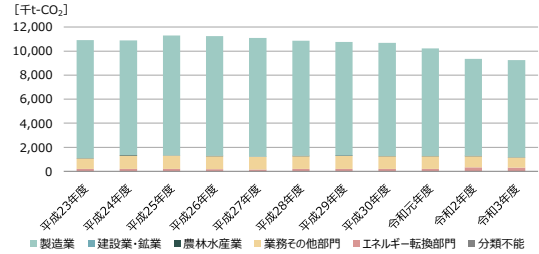
自治体排出量カルテ③ 特定事業所の温室効果ガス排出量の現状把握

1 地方公共団体の特定事業所排出量

1) 特定事業所の部門別排出量 (令和3年度)



2) 特定事業所の部門別排出量の推移

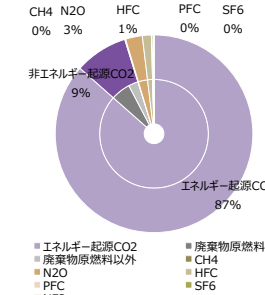


部門	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合計	10,904	10,877	11,298	11,243	11,102	10,869	10,754	10,680	10,215	9,345	9,254
産業部門	9,834	9,564	10,004	9,985	9,905	9,617	9,469	9,433	8,962	8,084	8,109
製造業	9,802	9,531	9,970	9,947	9,868	9,578	9,434	9,402	8,930	8,058	8,084
建設業・鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農林水産業	32	33	34	38	37	39	36	31	32	27	26
業務その他部門	879	1,114	1,104	1,079	1,038	1,047	1,078	1,045	1,052	941	839
エネルギー転換部門	191	199	190	180	159	205	207	202	202	320	306
分類不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

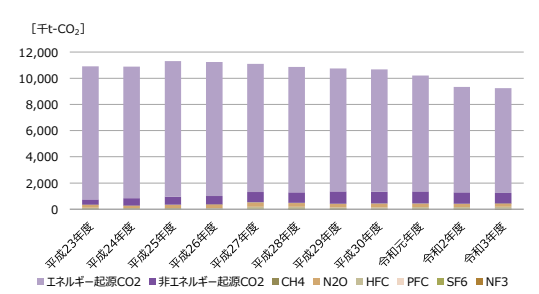
本カルテの「特定事業所」は、多量に温室効果ガスを排出しており、「地球温暖化対策の推進に関する法律」において自らの温室効果ガスの排出量を算定し、国に報告することが義務付けられている事業所を指します。本カルテの特定事業所の部門と日本標準産業分類との対応は以下のとおりです。

- 製造業：E製造業（エネルギー転換部門の細分類除く）
- 建設業・鉱業：C鉱業、採石業、砂利採取業、D建設業
- 農林水産業：A農業、林業、B漁業
- 業務その他部門：F電気・ガス・熱供給・水道業～S公務（エネルギー転換部門の細分類除く）
- エネルギー転換部門：日本標準産業分類の細分類（E製造業の1711：石油精製業、1731：コークス製造業、F電気・ガス・熱供給・水道業の3311：発電所、3312：変電所、3411：ガス製造工場、3511：熱供給業）

3) 特定事業所別のガス種別排出量 (令和3年度)



4) 特定事業所のガス種別排出量の推移

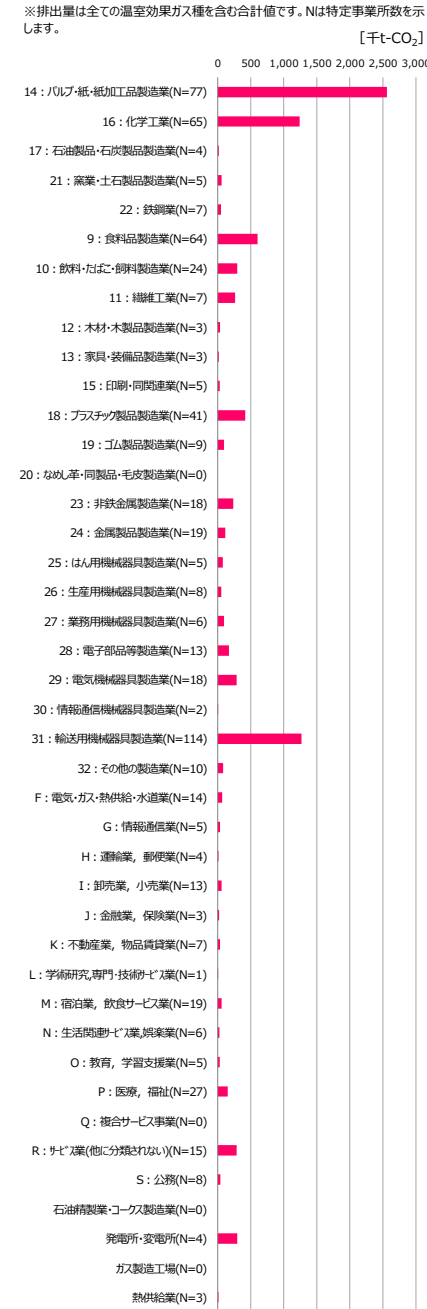


温室効果ガス種	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合計	10,904	10,877	11,298	11,243	11,102	10,869	10,754	10,680	10,215	9,345	9,254
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	10,158	10,046	10,341	10,233	9,992	9,581	9,400	9,358	8,852	8,052	8,007
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	397	554	613	629	777	805	935	886	934	877	804
産業物原燃料	220	241	296	329	485	493	564	550	490	511	538
産業物原燃料以外	176	313	317	300	292	312	371	337	444	365	266
CH <sub>4</sub>	9	9	10	14	14	11	15	15	12	14	13
N <sub>2</sub> O	231	183	254	271	330	294	277	274	255	247	254
HFC	83	75	54	67	105	106	103	108	115	115	136
PFC	10	10	7	9	8	8	9	9	8	9	11
SF <sub>6</sub>	16	0	18	21	76	61	11	26	36	28	25
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0	0	3	4	3	3	3	4

エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外のガス種の排出源となっている活動を以下に例示します。あくまで、例示のため、詳細は「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」を御確認ください。（https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc/）

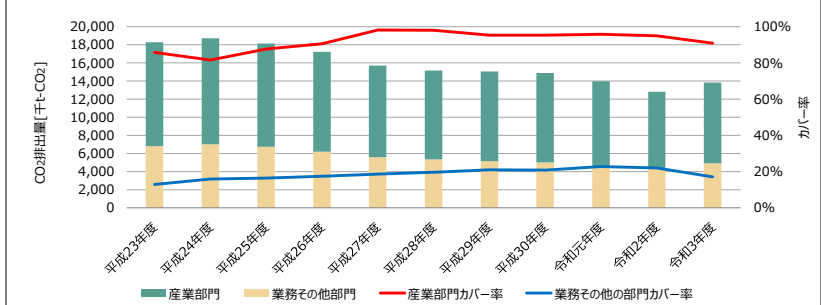
- 非エネルギー起源CO<sub>2</sub>
- 産業物原燃料：産業物の焼却のうち産業物が燃料に変わって焼却の用に供される場合(A)及び製品の製造の用途への使用、廃棄物燃料等の使用
- 産業物原燃料以外：産業物の焼却のうち上記(A)を除く場合、原油又は天然ガスの生産、セメントの製造、生石灰の製造 等
- CH<sub>4</sub>：燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用、都市ガスの製造、稲作、廃棄物の埋立処分、工場廃水の処理 等
- N<sub>2</sub>O：燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用、麻酔剤の使用、家畜の排泄物の管理、耕地における肥料の使用 等
- HFC：業務用冷凍空調機器の使用開始におけるHFCの封入、業務用冷凍空調機器の整備におけるHFCの回収及び封入 等
- PFC：アルミニウムの製造、パフオリカーボン（PFC）の製造、半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるPFCの使用 等
- SF<sub>6</sub>：マグネシウム合金の鋳造、六ふ化硫黄（SF<sub>6</sub>）の製造、変圧器等電気機械器具の製造及び使用の開始におけるSF<sub>6</sub>の封入 等
- NF<sub>3</sub>：三ふ化窒素（NF<sub>3</sub>）の製造、半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるNF<sub>3</sub>の使用

5) 業種別の特定事業所の事業所数及び排出量 (令和3年度)



2 地方公共団体の区域のCO<sub>2</sub>排出量との比較

6) 区域のCO<sub>2</sub>排出量の推移及び特定事業所排出量のカバー率の推移

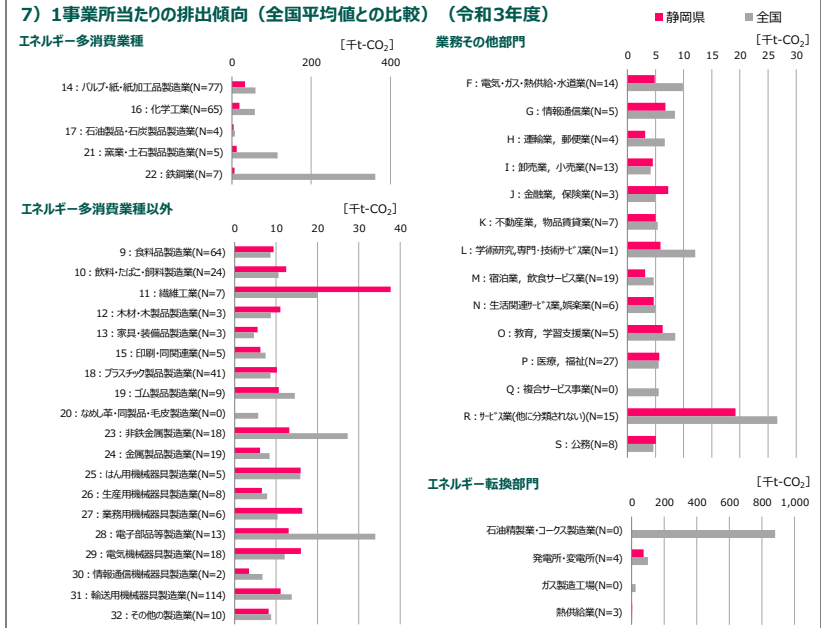


区域のエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
部門											
産業・業務部門の合計	18,284	18,731	18,145	17,218	15,688	15,165	15,069	14,902	13,966	12,805	13,838
産業部門	11,466	11,722	11,410	11,020	10,091	9,815	9,934	9,891	9,351	8,514	8,926
製造業	10,614	10,897	10,633	10,307	9,362	9,067	9,234	9,256	8,733	7,756	8,204
建設業・鉱業	324	299	258	253	234	230	230	216	196	210	228
農林水産業	529	527	520	460	494	519	469	418	422	548	494
業務その他部門	6,818	7,009	6,735	6,198	5,597	5,350	5,135	5,011	4,614	4,292	4,912

区域のエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量における特定事業所の温室効果ガス排出量のカバー率	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産業・業務部門の合計	59%	57%	61%	64%	70%	70%	70%	70%	72%	70%	65%
産業部門	86%	82%	88%	91%	98%	98%	95%	95%	96%	95%	91%
製造業	92%	87%	94%	97%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	99%
建設業・鉱業	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
農林水産業	6%	6%	7%	8%	8%	7%	8%	8%	8%	5%	5%
業務その他部門	13%	16%	16%	17%	19%	20%	21%	21%	23%	22%	17%

区域のCO<sub>2</sub>排出量（産業・業務部門）は、「④CO<sub>2</sub>排出量の現状把握」と同様の数値を用いています。特定事業所のカバー率＝（特定事業所の温室効果ガス排出量）／（区域の産業・業務部門のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量）※特定事業所のカバー率は、推計精度の問題により、地方公共団体の区域全体の排出量を超える可能性があります。特定事業所排出量の比率が100%を超える場合は、カバー率を100%と表記しています。

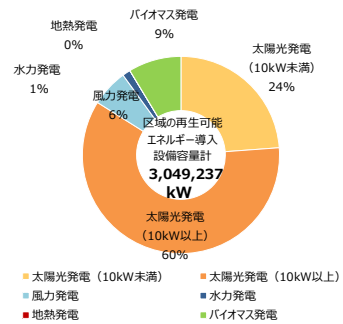
3 全国の1事業所当たりの排出傾向との比較 ※排出量は全ての温室効果ガス種を含む合計値です。Nは特定事業所数を示します。



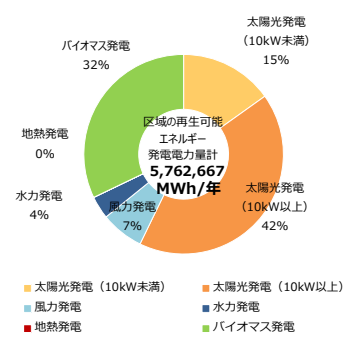


1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）※1

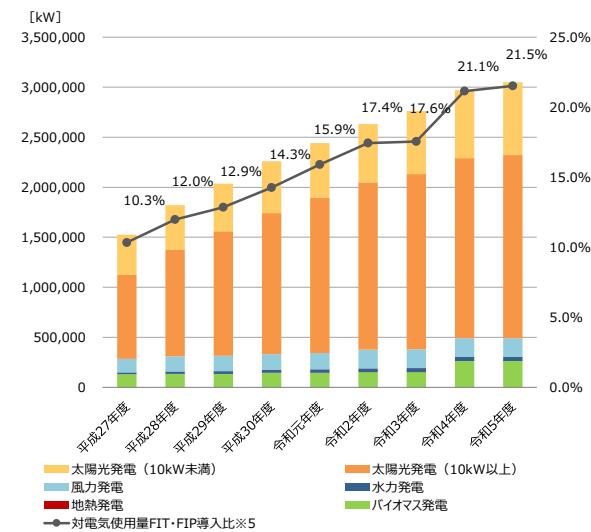
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量（令和5年度）



2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量（令和5年度）



3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）



年度	区域の再生可能エネルギーの導入設備容量								
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
33	441,938	475,553	518,436	544,077	581,020	631,071	680,545	726,674	
21	1,069,150	1,242,847	1,413,099	1,554,525	1,673,620	1,751,875	1,800,453	1,832,676	
01	152,830	152,975	151,354	165,193	187,193	187,193	185,293	185,293	
57	25,207	29,565	32,827	33,527	36,021	38,502	40,362	40,388	
0	0	110	110	110	110	110	110	110	
58	132,728	133,661	145,063	145,410	152,497	153,507	263,895	264,096	
70	1,821,852	2,034,711	2,260,889	2,442,841	2,630,460	2,762,257	2,970,657	3,049,237	

※1：再生可能エネルギー導入設備容量は、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（再生特措法）」（平成23年法律第108号）に基づくFIT・FIP制度で認定された設備のうち買取を開始した設備の導入容量を記載しています。そのため、自家消費のみで売電していない設備、FIT・FIP制度への移行認定を受けていない設備等は、本カルテの値に含まれません。

※2：バイオマス発電の導入設備容量は、FIT・FIP制度公表情報のバイオマス発電設備（バイオマス比率考慮あり）の値を用いています。

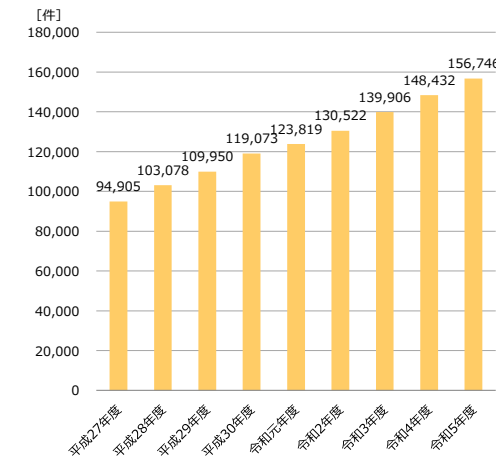
区域の再生可能エネルギーによる発電電力量※3									[MWh/年]
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
68	530,379	570,720	622,185	652,958	697,293	757,361	816,735	872,096	
62	1,414,228	1,643,988	1,869,191	2,056,263	2,213,797	2,317,310	2,381,567	2,424,191	
83	332,019	332,336	328,813	358,878	406,673	406,673	402,545	402,545	
36	132,486	155,396	172,539	176,218	189,324	202,364	212,141	212,279	
0	0	771	771	771	771	771	771	771	
64	930,159	936,697	1,016,602	1,019,030	1,068,696	1,075,774	1,849,378	1,850,785	
13	3,339,271	3,639,907	4,010,100	4,264,118	4,576,554	4,760,253	5,663,136	5,762,667	
36	27,862,323	28,300,071	28,110,760	26,815,607	26,248,318	27,112,701	26,777,465	26,777,465	
%	12.0%	12.9%	14.3%	15.9%	17.4%	17.6%	21.1%	21.5%	

※3：区域の再生可能エネルギーによる発電電力量は、区域の再生可能エネルギーの導入設備容量と調達価格等算定委員会「調達価格等に関する意見」の設備利用率から推計しました。設備利用率は実際には地域差等があることから、推計値は実際の発電電力量とは一致しません。目安として御活用ください。なお、推計に用いた前提条件は、「別紙」のシートを御覧ください。

※4：区域の電気使用量は、「地方公共団体実行計画（区域施策） 策定・実施マニュアル」の標準的手法を参考に、総合エネルギー統計及び都道府県別エネルギー消費統計の部門別の電気使用量を各部門の活動量で按分して推計しました。ただし、統計資料の公表年度の違いから最新年度の区域の電気使用量は、その1年度前の値を用いています。

※5：区域のFIT・FIP制度による再生可能エネルギーの発電電力量（の合計値）を、区域の電気使用量で除した値です。

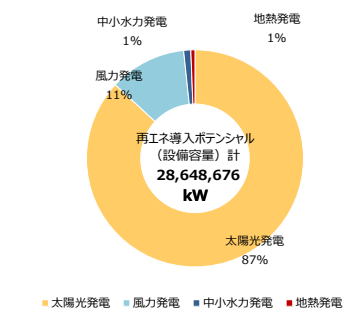
4) 区域の太陽光発電（10kW未満※6）設備の導入件数の推移（累積）



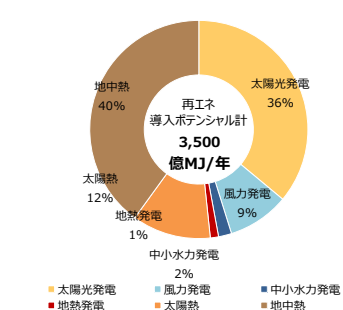
※6：区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数は比較的小規模な太陽光発電（住宅等に設置されるもの）を示すと考えられることから、住宅への太陽光発電の導入実績とみなすことができます。

2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル※7

5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）



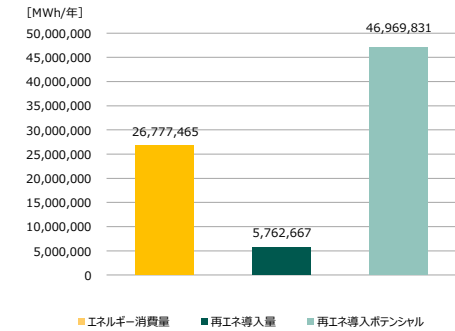
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）



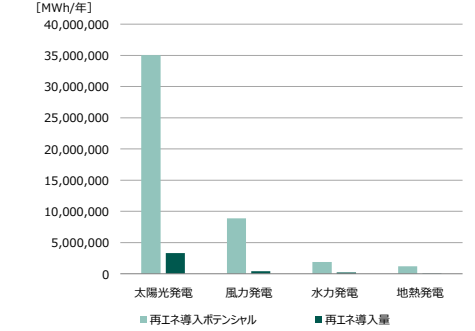
REPOS上に掲載されている再生可能エネルギーの導入ポテンシャルとは、設置可能面積、平均風速、河川流量等から理論的に算出することができるエネルギー資源量（賦存量）のうち、法令、土地利用などによる制約（国立公園、土地の傾斜、居住地からの距離等）があるものを除いたエネルギー資源量です。あくまで一定の仮定を置いた上での推計値であることから、実際に導入可能な設備容量や発電電力量とは一致しません。目安として御活用ください。

3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）

7) 区域内のエネルギー消費量に対する再生エネルギー導入ポテンシャル（電気）



8) 区域内の再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量（電気）



区域のエネルギー消費量と再生エネルギー導入ポテンシャル（電気）		再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量（電気）			
対電気使用量FIT・FIP導入比（再生不給率）	21.5%	再生エネルギー導入ポテンシャル [MWh/年]	再生エネルギー導入量 [MWh/年]	再生エネルギーポテンシャルに占める導入割合	
対電気使用量再生エネルギー導入ポテンシャル比 ※9	175.4%	太陽光発電	35,036,597	3,296,287	9.4%
再生エネルギー余剰量 [MWh/年] ※10	20,192,366	風力発電	8,860,936	402,545	4.5%
		水力発電	1,891,686	212,279	11.2%
		地熱発電	1,180,612	771	0.1%

※9：（再生エネルギーポテンシャル） / （電気使用量）により算出します。

※10：電気使用量 > 再生エネルギーポテンシャルの場合は「再生エネルギー不足量 [MWh/年]」、電気使用量 < 再生エネルギーポテンシャルの場合は「再生エネルギー余剰量 [MWh/年]」を示します。

	設備容量 [kW]	発電電力量 [MWh/年]	導入ポテンシャル [億MJ/年]
太陽光発電	24,887,631	35,036,597	1,261
建物系	14,326,012	20,165,774	726
土地系	10,561,619	14,870,823	535
風力発電	3,281,700	8,860,936	319
中小水力発電	303,207	1,891,686	68
河川	298,591	1,858,226	67
農業用水路	4,616	33,460	1
地熱発電	176,138	1,180,612	43
蒸気フラッシュ発電	118,884	829,533	30
バイナリー発電	24,625	150,993	5
低温バイナリー発電	32,629	200,086	7
太陽熱	-	-	409
地中熱	-	-	1,400
再生可能エネルギー合計	28,648,676	46,969,831	3,500

※7：最新の数値や算定方法、再生エネルギー導入ポテンシャルの定義は、REPOSのHPを御参照ください。  
<https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/>

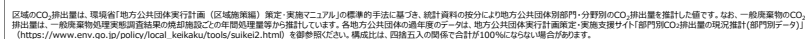
参考）再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量の集計対象の整理※8

	再生エネルギー導入ポテンシャル	再生エネルギー導入量
データ出所	REPOS（ポテンシャル情報）	再生エネルギー特措法 情報公表用ウェブサイト（全国・都道府県はA表、市町村はB表）
太陽光発電	太陽光発電（建物系・土地系）	太陽光発電（10kW未満・10kW以上）
風力発電	風力発電（陸上）	風力発電（20kW未満・20kW以上のうち洋上風力を除く）
水力発電	中小水力発電（河川・農業用水路）	水力発電
地熱発電	蒸気フラッシュ発電、バイナリー発電、低温バイナリー発電	地熱発電

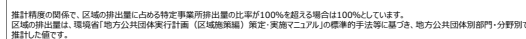
※8：再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量のデータは、集計対象範囲や数値の算出方法が異なるため、あくまで目安として御活用ください。

## 2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和3年度（2021年度））

## 2) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比の比較



3) 産業部門 4) 業務その他部門



#### 6) 特定事業所数の比較

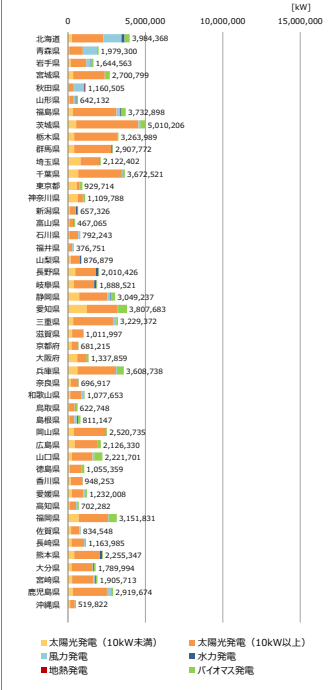


小数点以下を四捨五入して0%になるものはデータベルを表示していません。構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

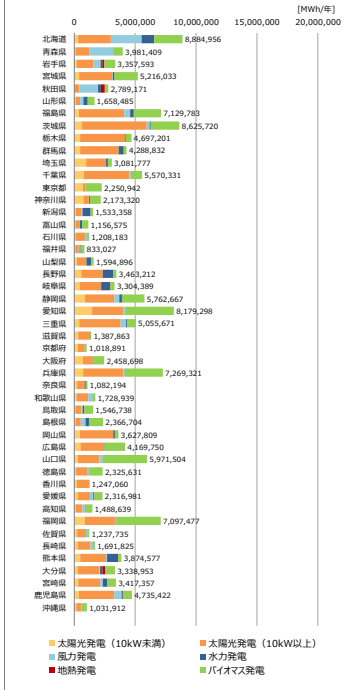
自治体排出量カテ 他の地方公共団体との比較（再生エネルギー・再生ポテンシャル）

1 再生エネルギーの比較（令和5年度（2023年度））

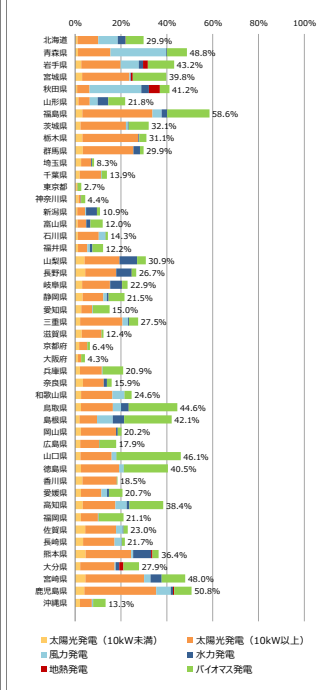
1) 他の地方公共団体との再生エネルギー設備容量の比較



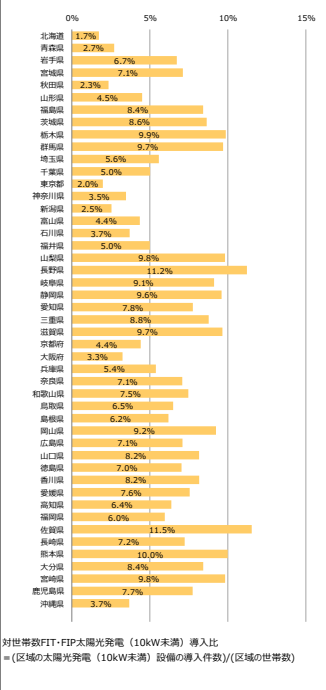
2) 他の地方公共団体との再生エネルギー発電量の比較



3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較



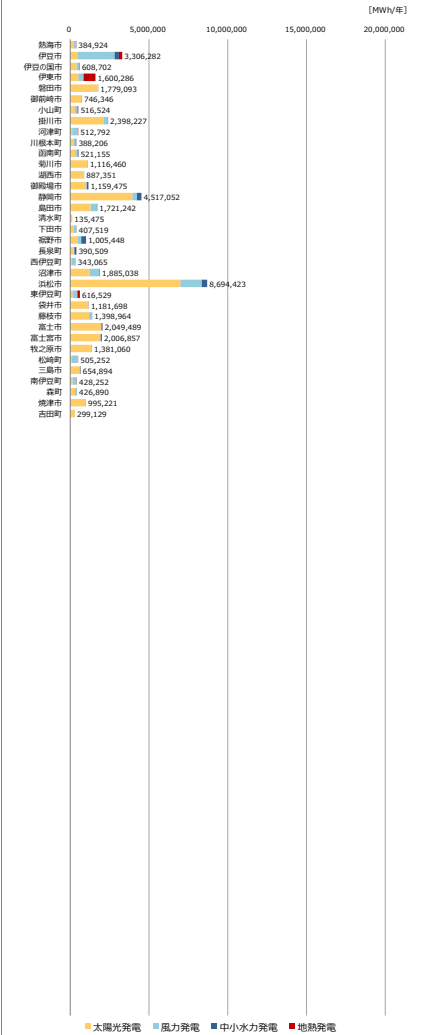
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比の比較



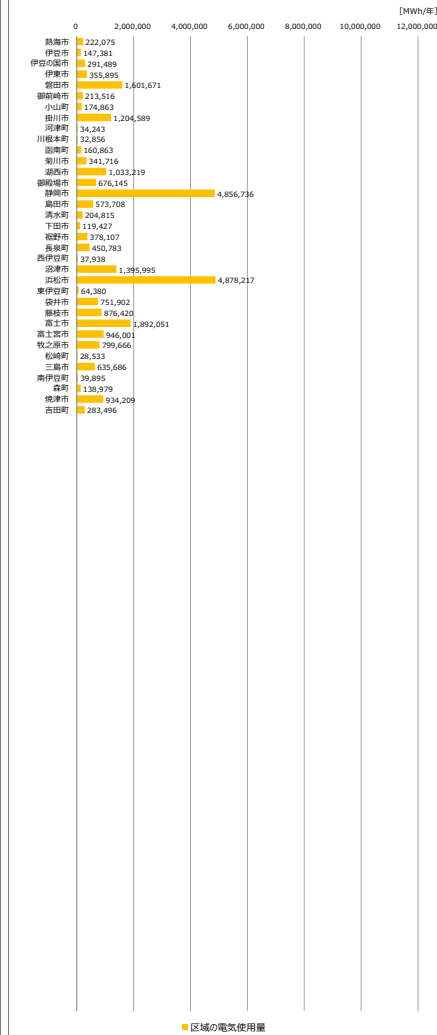
対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比  
= (区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数) / (区域の世帯数)

2 再生エネルギーポテンシャルの比較

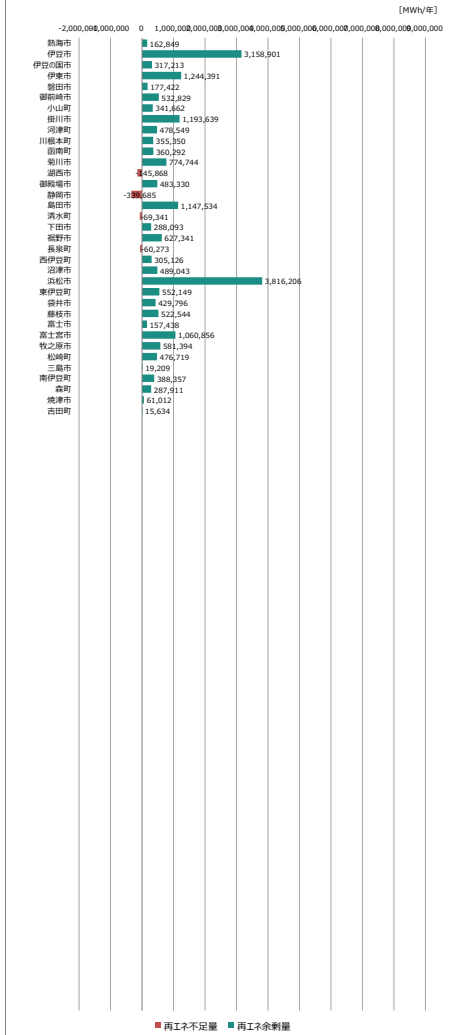
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再生エネルギーポテンシャル（発電能力）の比較



6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較



7) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再生エネルギー不足量・余剰量の比較



特定事業所集計表  
静岡県

日本標準産業分類（平成25年10月改定）（平成26年4月1日施行）

大分類

中分類

細分類

特定事業所数〔箇所〕

特定事業所排出量〔千・CO<sub>2</sub>〕

	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
A 建設・土木	640	658	666	668	663	677	675	677	674	661	665	4,10,904	10,877	11,298	11,243	11,102	10,869	10,754	10,680	10,215	9,345	9,254
建設・土木	4	4	4	5	6	5	4	4	4	4	4	32	33	34	38	37	39	36	31	32	27	26
建設・土木	496	503	512	514	511	526	527	534	535	521	527	9,802	9,931	9,970	9,947	9,868	9,578	9,434	9,402	8,930	8,058	8,084
建設・土木	136	147	146	145	143	139	137	133	129	129	127	879	1,114	1,104	1,079	1,038	1,047	1,078	1,045	1,052	941	839
建設・土木	4	4	4	4	4	6	6	6	7	7	7	191	199	190	180	159	205	207	202	202	320	306
A 農業・林業	4	4	4	5	5	6	5	4	4	4	4	32	33	34	38	37	39	36	31	32	27	26
農業・林業	4	4	4	5	5	6	5	4	4	4	4	32	33	34	38	37	39	36	31	32	27	26
B 製造・工業	496	503	512	514	511	526	527	534	535	521	527	9,802	9,931	9,970	9,947	9,868	9,578	9,434	9,402	8,930	8,058	8,084
製造・工業	496	503	512	514	511	526	527	534	535	521	527	9,802	9,931	9,970	9,947	9,868	9,578	9,434	9,402	8,930	8,058	8,084
製造・工業	136	147	146	145	143	139	137	133	129	129	127	879	1,114	1,104	1,079	1,038	1,047	1,078	1,045	1,052	941	839
製造・工業	4	4	4	4	4	6	6	6	7	7	7	191	199	190	180	159	205	207	202	202	320	306
C 鉱業・採石業	4	4	4	5	5	6	5	4	4	4	4	32	33	34	38	37	39	36	31	32	27	26
鉱業・採石業	4	4	4	5	5	6	5	4	4	4	4	32	33	34	38	37	39	36	31	32	27	26
D 建設・土木	496	503	512	514	511	526	527	534	535	521	527	9,802	9,931	9,970	9,947	9,868	9,578	9,434	9,402	8,930	8,058	8,084
建設・土木	496	503	512	514	511	526	527	534	535	521	527	9,802	9,931	9,970	9,947	9,868	9,578	9,434	9,402	8,930	8,058	8,084
建設・土木	136	147	146	145	143	139	137	133	129	129	127	879	1,114	1,104	1,079	1,038	1,047	1,078	1,045	1,052	941	839
建設・土木	4	4	4	4	4	6	6	6	7	7	7	191	199	190	180	159	205	207	202	202	320	306
E 製造・工業	496	503	512	514	511	526	527	534	535	521	527	9,802	9,931	9,970	9,947	9,868	9,578	9,434	9,402	8,930	8,058	8,084
製造・工業	496	503	512	514	511	526	527	534	535	521	527	9,802	9,931	9,970	9,947	9,868	9,578	9,434	9,402	8,930	8,058	8,084
製造・工業	136	147	146	145	143	139	137	133	129	129	127	879	1,114	1,104	1,079	1,038	1,047	1,078	1,045	1,052	941	839
製造・工業	4	4	4	4	4	6	6	6	7	7	7	191	199	190	180	159	205	207	202	202	320	306
F 電気・ガス・熱供給・水道業	19	19	19	20	19	21	21	21	19	22	21	278	289	279	276	243	296	284	281	260	391	372
電気・ガス・熱供給・水道業	19	19	19	20	19	21	21	21	19	22	21	278	289	279	276	243	296	284	281	260	391	372
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	4	190	198	186	175	155	152	203	199	189	309	296
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	4	190	198	186	175	155	152	203	199	189	309	296
G 情報通信業	7	7	6	6	6	6	6	7	6	5	5	57	63	57	58	55	49	46	48	42	37	34
情報通信業	7	7	6	6	6	6	6	7	6	5	5	57	63	57	58	55	49	46	48	42	37	34
情報通信業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	24	30	30	29	32	24	22	22	20	18	17
情報通信業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	24	30	30	29	32	24	22	22	20	18	17
H 運輸業、郵便業	2	4	4	3	3	4	4	3	4	4	4	7	14	15	12	11	16	15	12	15	14	13
運輸業、郵便業	2	4	4	3	3	4	4	3	4	4	4	7	14	15	12	11	16	15	12	15	14	13
運輸業、郵便業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
運輸業、郵便業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
I 卸売業、小売業	20	21	22	20	17	15	15	14	14	13	100	106	107	94	83	86	76	73	67	61	59	
卸売業、小売業	20	21	22	20	17	15	15	14	14	13	100	106	107	94	83	86	76	73	67	61	59	
卸売業、小売業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	7	7	7	6	7	7	6	7	6	6
卸売業、小売業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	7	7	7	6	7	7	6	7	6	6
卸売業、小売業	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	19	21	27	20	20	20	20	18	20	19	
卸売業、小売業	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	19	21	27	20	20	20	20	18	20	19	
卸売業、小売業	17	18	19	18	15	17	13	13	10	9	71	73	73	66	57	60	50	50	35	29	29	
卸売業、小売業	17	18	19	18	15	17	13	13	10	9	71	73	73	66	57	60	50	50	35	29	29	
卸売業、小売業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
卸売業、小売業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
J 金融業、保険業	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	19	21	22	21	20	20	33	32	26	22	22
金融業、保険業	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	19	21	22	21	20	20	33	32	26	22	22
金融業、保険業	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	8	9	10	10	8	10	10	8	5	5	5
金融業、保険業	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	8	9	10	10	8	10	10	8	5	5	5
K 不動産業、物品賃貸業	8	8	9	9	9	7	8	8	8	8	7	41	47	44	41	39	39	31	31	30	37	35
不動産業、物品賃貸業	8	8	9	9	9	7	8	8	8	8	7	41	47	44	41	39	39	31	31	30	37	35
不動産業、物品賃貸業	8	8	9	9	9	7	8	8	8	8	7	41	47	44	41	39	39	31	31	30	37	35
L 学術研究、専門・技術サービス業	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1	28	31	31	30	29	23	23	23	21	20	6
学術研究、専門・技術サービス業	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1	28	31	31	30	29	23	23	23	21	20	6
学術研究、専門・技術サービス業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	5	6	6	5						
学術研究、専門・技術サービス業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	5	6	6	5						
M 宿泊業、飲食サービス業	15	20	19	19	22	20	19	19	18	19	19	71	100	98	96	106	89	83	82	77	58	60
宿泊業、飲食サービス業	15	20	19	19	22	20	19	19	18	19	19	71	100	98	96	106	89	83	82	77	58	60
宿泊業、飲食サービス業	15	20	19	19	22	20	19	19	18	19	19	71	100	98	96	106	89	83	82	77	58	60
宿泊業、飲食サービス業	15	20	19	19	22	20	19	19	18	19	19	71	100	98	96	106	89	83	82	77	58	60
N 生活関連サービス業、娯楽業	6	7	7	6	7	7	8	6	6	6	30	32	32	27	35	32	36	28	25	22	28	
生活関連サービス業、娯楽業	6	7	7	6	7	7	8	6	6	6	30	32	32	27	35	32	36	28	25	22	28	
生活関連サービス業、娯楽業	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	16	15	16	15	18	16	20	15	14	13	19	
生活関連サービス業、娯楽業	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	16	15	16	15	18	16	20	15	14	13	19	
O 教育、学習支援業	6	6	7	6	5	5	5	5	5	5	35	37	37	37	33	32	33	32	31	30	31	
教育、学習支援業	6	6	7	6	5	5	5	5	5	5	35	37	37	37	33	32	33	32	31	30	31	
教育、学習支援業	6	6	7	6	5	5	5	5	5	5	35	37	37	37	33	32	33	32	31	30	31	
教育、学習支援業	6	6	7	6	5	5	5	5	5	5	35	37	37	37	33	32	33	32	31	30	31	
P 医療、福祉	24	25	28	29	29	28	28	27	27	26	27	131	154	175	174	166	166	169	164	158	145	153
医療、福祉	24	25	28	29	29	28	28	27	27	26	27	131	154	175	174	166	166	169	164	158	145	153
医療、福祉	24	25	28	29	29	28	28	27	27	26	27	131	154	175	174	166	166	169	164	158	145	153
医療、福祉	24	25	28	29	29	28	28	27	27	26	27	131	154	175	174	166	166	169	164	158	145	153
医療、福祉	24	25	28	29	29	28	28	27	27	26	27	131	154	175	174	166	166	169	164	158	145</	

部門と日本標準産業分類との対応は以下のとおりです。

- ・製造業：E製造業(エネルギー転換部門の細分除く)
- ・建設業：C鉱業、採石業、砂利採取業、D建設業
- ・農林水産業：A農業、林業、B漁業
- ・業務その他の部門：F電気、ガス、熱供給～Sサービス(エネルギー転換部門の細分除く)

エネルギー転換部門：E製造業の1711：石油精製業、1731：コア製造業、F電気、ガス、熱供給・水道業の3311：発電所、3312：変電所、3411：ガス製造・供給、3511：熱供給業、中分類（17、33、34、35）はエネルギー転換部門を含んでいます。（エネルギー転換部門の細分コード分は内訳表示のみ。）

大分類（E～9-32の合計）（F：33～36の合計）はエネルギー転換部門を含んでいます。（エネルギー転換部門の細分コード分は内訳表示のみ。）